

5 中小市場向け NAS “オフィスステーション® Pro”

# 保守運用サービス付きで中小向けNASの最新機種。B2B2MX 商流への対応も強化

株式会社 NTTPC コミュニケーションズ（以下、NTTPC）は中小市場向け NAS(Network Attached Storage) の新機種を近く提供開始する。リモート管理を可能にする統合 ICT マネジメントシステムにより、B2B2MX（M は many を意味する）型ビジネスのいわゆる「中 B」のポジションで NAS を提供するサービス事業者の利便性も向上させていく方針だ。

## B2B2MX 商流における「中 B」のサービス事業者が扱いやすい商材に

NTTPC は大企業向けが多い NAS 市場において数少ない中小企業向けの NAS “オフィス・ステーション® 2” の後継機種として “オフィス・ステーション® Pro（以下、OS Pro）” の提供を近く開始する。

現行機種と比較し CPU は 2 コア 2 スレッドから 4 コア 4 スレッドへ、メモリは 8GB から 16GB へ、ストレージ容量は 2TB、6TB、12TB から 4TB、8TB、12TB へとアップグレードし、性能や品質を向上する。また、



株式会社 NTTPC コミュニケーションズ サービスクリエーション本部 システム&サービスインテグレーション部 システム&サービスインテグレーション担当  
(左から) 担当部長 尾崎 文則氏 担当課長 倉持 祐一氏 立石 毅氏

万が一 HDD が故障した場合の交換を、電源を落とさずに行えるホットスワップに対応するなどエンドユーザーの利便性を向上した。加えて重要な要素があるとして倉持氏は次の

ように述べている。

「NTTPC が単独で全国展開することは難しく、パートナー企業に B2B2MX 型ビジネスの『中 B』として OS Pro をご提供くださることが重要です。現行機種では NTT 西日本などの実績もあり、より多くの企業さまがご採用になるよう、中 B のサービス事業者にとっての扱いやすさを重視した商材に仕上げました」

様々な万が一に備えた「安心・安全な機能」と「運用サポート」

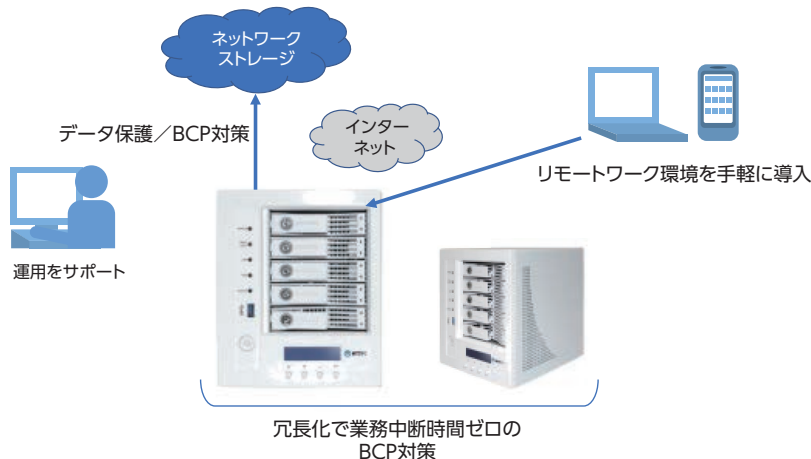


図1 オフィス・ステーション® Pro 概要

## ワークスタイル変革に役立つ 特長：スマホからのアクセスも可能に

OS Pro ではリモートワークの増加に伴い需要が高まっているオフィス外から NAS へのリモートアクセス機能が強化された。

「現行機種では Windows のみの対応でしたが、OS Pro ではスマートフォンやタブレット端末からのリモートアクセスも可能です」(立石氏)

## BCP に役立つ特長：クラウドバックアップ／筐体冗長化機能

万が一のデータ破損に備えデータをクラウドにバックアップするオプション機能が現行機種から用意されている。バックアップ先には NTTPC の Security BOSS<sup>®</sup> ネットワーク・ストレージサービスを利用可能であるほか、中 B のサービス事業者が任意のクラウドサービスと組み合わせることができる。

また中小企業では NAS が停止すると業務も停止するというケースが少なくない。そのため万が一の場合に待機系へ自動で切り替えるフェイルオーバー機能への期待が高かった。OS Pro は 2 台購入すると簡単にフェイルオーバーが可能になる筐体冗長化機能を備えている。

## 24 時間 365 日の運用監視。故障の予兆を検知し事前に HDD を交換可能

OS Pro にも現行機種と同様にサポートサービスが用意される。具体的には 24 時間 365 日の機器監視を実施し、故障を検知した際にはエンドユーザーに通知する。新たなサービスとして「HDD 予防保全通知サービス」が追加された。文字どおり HDD 故障を事前に検知しエンドユーザーに通知するというものだ。「先出しセンドバック保守」により交換用パーツが事前に提供され、実際に故障する前に HDD を交換できる。

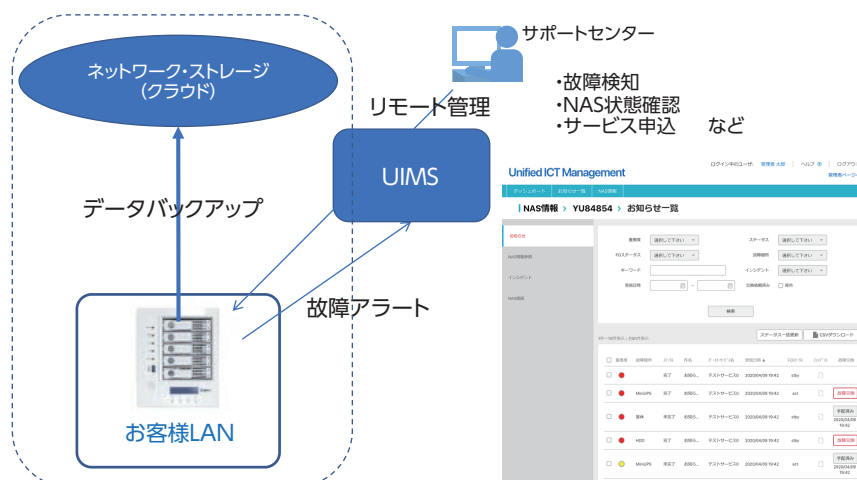


図2 統合 ICT マネジメントシステム概要

## 「中 B」のサポート業務を支援する統合 ICT マネジメントシステム

もう 1 つ大きな特長として“統合 ICT マネジメントシステム (以下、UIMS)”との連携を挙げることができる。UIMS は中 B のサービス事業者が行うオペレーション業務を支援する NTTPC のシステムであり、クラウドサービスのように利用できる。サービス事業者が運営するサポートセンターからの利用を想定しており、FAQ やチケット管理システム、サービスオーダーシステムとも連携する。管理画面からわかりやすい UI によって顧客情報、NAS の状態、故障情報など保守運用に必要な各種情報にアクセスできるほか、オーダーの投入、エンドユーザーからの問い合わせ対応など、さまざまな業務を簡単に行うことができる。

「UIMS は NTTPC の保守運用ノウハウをシステム化しリモートから効率的に ICT 機器を管理できるようにしたものです。最初に対応した UTM (Unified Threat Management)、OS Pro に続き、NTTPC のハードウェア調達力を生かし今後も対応商材を

増やしていく方針です。そうすることにより、商材ごとにばらばらだった各種情報をエンドユーザー単位で統合的に管理可能にし、サービス事業者の利便性を高めていきたいと考えています」(尾崎氏)

## 継続的な機能改善でエンドユーザー、中 B サービス事業者の利便性を向上

クラウドストレージサービスや UIMS との組み合わせによりエンドユーザーと中 B のサービス事業者双方にさまざまなメリットを提供する OS Pro の今後について、倉持氏は次のように述べている。

「サービスリリース後も OS Pro、UIMS とともに連携サービスを増やし機能を改善していく予定です。ニーズを踏まえながらではありますが、OS Pro にエンドユーザーの ICT 機器情報を管理する仕組みを搭載するといったことも検討しています。また使いやすさを向上するため GUI の良さも追求したいと考えています」



オフィス・ステーション<sup>®</sup>